**記者発表資料**

平成２９年１０月２３日
国道交通省三陸国道事務所
戸田･岩田地崎 特定建設工事共同企業体

【宮古盛岡横断道路（宮古箱石道路）】

# 盛岡市立厨川中学校２学年 40 名が
# 宮古箱石道路の工事進捗状況について見学します

　このたび、盛岡市立厨川中学校２学年約 40 名による現場見学会を、下記の日程で開催することとしますのでお知らせいたします。
　今回は、厨川中学校の総合的な学習及び復興教育の一環として、復興支援道路として整備中である宮古箱石道路の整備状況について学ぶ現場見学会となります。

■　開催日時　：　平成 29 年 10 月 27 日（金）　9：00 から（約２時間を予定）

■　集合場所　：　宮古市茂市第５地割・・・別紙－１　（案内図）参照
（茂市地区道路工事　現場事務所）

■　見学場所　：　茂市地区道路工事　（仮称）腹帯第１トンネル

■　実施内容　：　別紙－２（現場見学会スケジュール）参照

■　そ の 他　：　現場に入場する際のヘルメットは、当方で準備いたします。

《 発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会 》

**問い合わせ先**

【事業に関する問い合わせ】
○ 国土交通省　東北地方整備局　三陸国道事務所
副　所　長　平岡（ひらおか）　弘志（ひろし）　（内線 204）　電話 0193-62-1711（代表）
工務第一課　建設監督官　河上（かわかみ）　伸一（しんいち）　（内線 504）（宮古箱石道路担当）

【工事内容について】
○ 茂市地区道路工事
戸田・岩田地崎 JV　現場事務所　電話 0193-65-7007
現場代理人　尾花（おばな）　敬治（けいじ）

（復興支援道路・宮古盛岡横断道路については、三陸国道 で検索できます。）

# 茂市地区道路工事　事務所案内図

別紙－1

茂市事務所　　　〒028-2101
岩手県宮古市茂市第5地割91番地1
TEL 0193-65-7007
FAX 0193-65-7008

入口写真（宮古側から）

入口写真（盛岡側から）

『この地図は、国土地理院長の承認を得て、
同院発行の電子地図（タイル）を複製したものである。（承認番号　平29東複、第33号）』

別紙－２

# 宮古盛岡道路　現場見学会スケジュール

日　時：平成２９年１０月２７日（金）　９：００～１１：００
見学者：盛岡市立厨川中学校　２学年　４０名程度

見学スケジュール（案）

９：００　茂市地区道路工事（戸田建設(株)･岩田地崎建設(株)JV）　現場事務所
９：０５　座学、講話等
・事業概要等説明（２０分）　三陸国道　建設監督官　河上 伸一
・工事概要説明（２０分）　戸田建設(株)・岩田地崎建設(株) JV
９：４５　休憩（１０分）
９：５５　・トンネル掘削方法の説明（動画）（２０分）
・質疑応答（５分）

１０：３０　腹帯第一トンネル　坑内を見学
・建設機械の説明
・TN 掘削状況の説明
・質疑応答
・現場内記念撮影

１１：００　現場見学会　終了

配付資料（予定）：　事業説明パンフレット
かわらばん（※事業広報誌）

その他　：　・服装は、現場見学に適した服装、長靴等のご準備をお願い致します。
・工事現場見学は、当事務所の現場担当者の指示に従うよう、お願い致します。

# 災害時における緊急輸送路の確保

別紙－３

■東日本大震災では、津波被害により幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
■宮古箱石道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

▼三陸沿岸地域への緊急輸送道路

▼津波により寸断された国道

写真①　宮古市愛宕交差点

写真②　宮古市磯鶏地区

# 迅速な救急搬送で安全･安心な住民生活に寄与

■宮古市内国道106号沿線地域の管外搬送は、全て盛岡市内の高度医療施設へ救急搬送
■宮古箱石道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全･安心な住民生活に寄与

▼国道106号は線形不良個所（急カーブ等）が多い

**全面通行止（過去１０年間）**
**回　　数：　　２２回**
**合計時間：１１１時間** 資料：岩手県（H17-H26）

宮古～箱石区間の国道106号

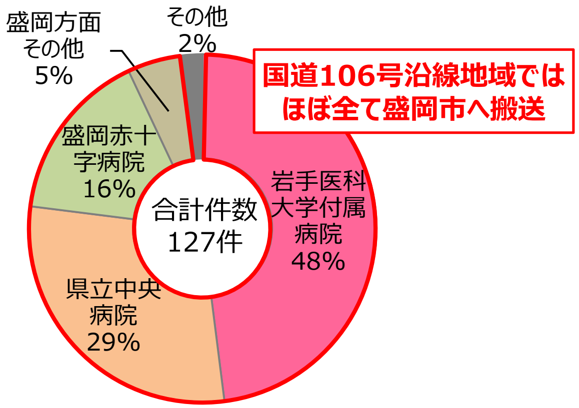
急カーブ箇所
（R<150m）
**14箇所**

▷

宮古箱石道路

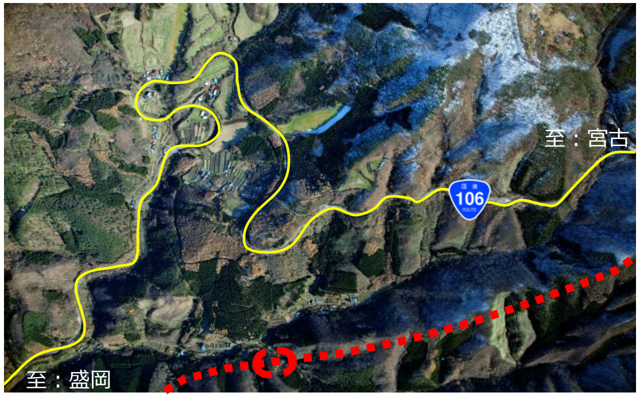
急カーブ箇所
（R<150m）
**0箇所**

▼宮古市内国道106号沿線地域の宮古地区外への搬送状況（H28）




※国道106号沿線地域
宮古消防署･新里分署･川井分署
資料：宮古地区広域行政組合
消防本部搬送実績

▼ 区界地区の急カーブ状況



# 新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- ■三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- ■三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

## 内陸の観光地

八幡平
（八幡平市入込客数
：175万人/年）

遠野盆地
（遠野市入込客数
：168万人/年）

展勝地
（北上市入込客数
：133万人/年）

世界遺産 平泉
（平泉町入込客数195万人/年）

中尊寺

毛越寺

※入込客数は、平成27年度の値です。

## 三陸復興国立公園

浄土ヶ浜(宮古市)

（宮古市入込客数：122万人/年）

船越半島大釜崎（山田町）

（山田町入込客数：23万人/年）

碁石海岸（大船渡市）

（大船渡市入込客数：100万人/年）

## 三陸ジオパーク

小袖海岸(久慈市)

（久慈市入込客数：79万人/年）

北山崎(田野畑村)

（田野畑村入込客数：55万人/年）

龍泉洞（岩泉町）

（岩泉町入込客数：43万人/年）

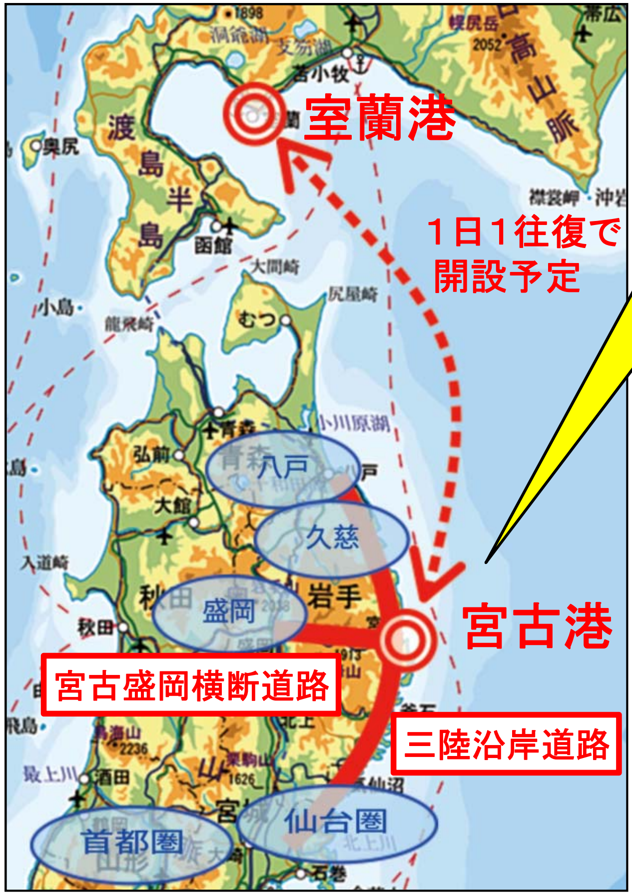
※資料：岩手県観光統計（平成27年、平成28年）

# フェリー就航で北海道との広域交流が活性化

○宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路が開設（岩手県初の運航）。
○**三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由**。
○北海道と東北、首都圏間の交流・物流を活発化させ、東北の復興の加速化に寄与。

## ■復興道路・復興支援道路の整備とフェリー航路

▼フェリー航路図




▼宮古港周辺の道路整備状況

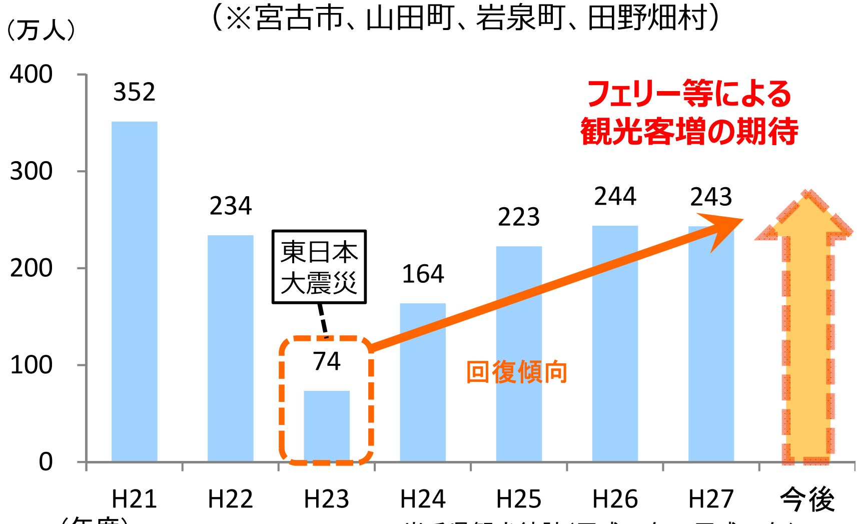
▼平成27年11月に宮古港でフェリー乗船会が開催され、カーフェリー「シルバークイーン」が寄港

▼航路概要
（川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋）

- ●開設時期　**平成３０年６月２２日決定（H29.9.1発表）**
- ●運行計画　１日１往復、毎日運行
- ●選定理由

①急ピッチで進められている復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上
②トラックドライバーの休憩時間８時間を確保できる最適な航路
③両港とも近隣の観光資源が豊富で旅客需要に期待
④自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、トラック事業者等からの期待も大きい。

▼観光入込客数の推移と期待
（※宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村）




岩手県観光統計（平成21年～平成28年）